

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

指定管理部門（地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援体制整備事業）も介護保険部門（居宅介護支援、通所介護）も一丸となって、様々な課題を乗り越えていくために、長期的で時代に合った運営コンセプトを設置し、それを軸とした事業計画を部門ごとに位置づけ、専門職であるスタッフ一人ひとりが目標を持ち、専門職としての責任を果たすべく業務に取り組むことを基本姿勢とします。

今この時代だからこそその課題である「防災（大規模災害対策）」「社会的孤立（8050問題など）」「貧困」「児童・高齢者虐待」「老々介護」「認知症」などに積極的に向き合い、柔軟な対応と適切な判断による支援を提供することを目指します。課題解決に向けた対策を様々な社会資源（制度、専門機関、インフォーマルなど）を活用しながら、地域全体で取り組んでいける形こそが地域包括ケアの目指すべき姿だと考えます。社会全体また地域の変化や様々な対象者（クライアント：高齢者、障がい児者、児童・子育て、ボランティアEtc）の生活や活動に身近な存在として寄り添い、それに伴うニーズ（社会ニーズ、地域ニーズ、個別ニーズなど）を専門職としての視点や知識を持つて的確に捉え、ニーズの実現・改善に向けた具体的な取り組みに繋げていきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
■	<input type="checkbox"/>	地域で活動する主任ケアマネジャーが地域住民との繋がりを持ち地域活動に踏み出す第一歩になることを目標に主任ケアマネジャーが輪番で講師となって介護保険講座を行う。
<input type="checkbox"/>	■	日吉地区のキャラバンメイトと協力し、日吉台中学校1年生、地域住民、銀行、事業者等を対象とした認知症サポーター養成講座を継続して開催する。
<input type="checkbox"/>	■	区内在住の概ね70歳の男性を対象に会社中心の生活から地域生活へのデビューのきっかけとするための連続講座「男のセカンドライフカレッジ」を4月より下田地域ケアプラザと区社協と開催する。
<input type="checkbox"/>	■	自主事業等の運営・参加など、オンラインなどを使った新しい事業や参加形態を模索する。
<input type="checkbox"/>	■	下田地域ケアプラザと協働し、日吉エリア3地区（日吉町、日吉本町、日吉宮前、箕輪町、下田町）において、地域関係者と専門職とを繋ぐカンファレンスの場を包括レベル地域ケア会議と位置付け開催する。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

新型コロナウイルスの感染拡大、長きにわたる緊急事態宣言期間により、地域の動きもなかなか元に戻らない現状の中、感染症対策を徹底（マスクの着用、消毒の徹底、ソーシャルディスタンス、人数制限など）したうえで、事業の再開、実施。またインターネット、リモート機能を活用し、会議や研修を開催するなど、新たな試みにもチャレンジしました。そういった新たな取り組み方を模索する中で、区役所や区社協とも協働、地域の関係機関（自治会、民児協、ボランティア会など）や同エリアの下田地域ケアプラザ、またケアマネジャーなど様々な専門職の協力を得ながら、地域サロン、認知症サポーター養成講座、男のセカンドライフカレッジ、介護保険講座、地域ケア会議を再スタートすることが出来たことは、大きな成果だったと感じています。引き続き、再開した事業を継続しつつ、社会の情勢を見据えながら、地域課題、社会的な課題に合わせた事業を展開していきたいと考えています。

区からのコメント

昨年度から引き続き、感染症予防対策がある中で、ICTを上手く活用しながら進めていた事業もありました。また、昨年度の事業実施状況から、地域ケア会議の実施やアンケート等を通し連絡会を行うなど、地域の医療との連携が取れた事業も新たに展開されていたかと思えます。今年度の取組を基に、事業の展開を行い、時勢や状況に合わせた個々の活動支援や事業の推進を今後も進めていただければと思います。地域包括ケアの実現を目指し、子どもや障害児者など幅広い対象に向けて、個別および団体の支援に取り組んでいます。ひっとプラン港北では、会議での検討を重ね、住民意見募集を行い、地域とサポートスタッフが一体となって計画を策定することが出来ました。今後も、地域と区・区社協・ケアプラザが協働し、取組を推進出来ればと思います。引き続きご協力をお願いいたします。

# 令和3年度 日吉本町地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人の倫理規定に基づき、信頼性と透明性を第一に、ご利用者すべての方々に対し、偏見や差別なく公平中立な専門的援助関係を心掛け、相談や各種事業に取り組みます。</li> <li>サービスを選択する際も、複数のサービスから選択できるよう情報提供し、ご利用者の自己決定を尊重、その権利を支える支援を行います。</li> <li>常日頃から公的な施設であること、それに伴う業務を担い、責任ある業務を行っている自覚を高く持つように指導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人の「個人情報に対する基本方針」及び「保有する個人情報保護に関する規定」に基づき、個人情報に関する文書や電子媒体等を管理します。</li> <li>内部研修での個人情報を取り扱う際の注意喚起及び日常作業におけるFAXやメール、郵送作業時のダブルチェック等、個人情報漏洩事故対策を徹底します。</li> <li>アクシデント及びヒヤリハット事例の検証と改善策の周知徹底を行います。</li> </ul>
実績	<p>指定管理部門、介護保険部門とも、公平・中立性を確保した上での自主事業の運営、各種相談業務、ケアマネジメント業務、介護サービスの提供(デイサービス)等に努めることが出来たました。</p> <p>また新人職員には「高齢者の尊厳を守るために」と題し、倫理と法令順守について研修を行っています。</p>	<p>居宅介護支援部門において2件の書類誤送付事故が発生しました。事故防止対策委員会を中心とした活動のもと、事故・ヒヤリハット事例の検証を行い、再発防止に努めるとともに、個人情報保護に関する注意喚起の機会(研修等)を増やしました。また新たなツールとして「リスクマネジメントマニュアル集」を完成させました。</p>

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>適切なアセスメントにより、個々の利用者がその人らしく自立した生活が継続できるように目標を立て、フォーマルなサービスだけでなく、インフォーマルなサービスも活用したケアプランを作成します。利用者だけでなく、それを支える家族(同居、別居問わず)への配慮、協力体制にも適宜働きかけを行い、利用者とその家族のニーズや目標が達成できるように支援します。</p> <p>また今年度の介護保険制度改正に関しても利用者、家族に変更点をわかりやすく説明し、理解を求めています。</p>	<p>日々の相談に加えて最低月に1回の訪問・モニタリングを通じて、利用者個々のニーズに合わせた適切なサービス調整業務を図っていきます。</p> <p>また、地域の多様なサービスを活用できるよう情報を集約、セルフマネジメントを推進し、利用者自身の自立に向けた支援を行います。</p> <p>また今年度の介護保険制度改正に関しても利用者、家族に変更点をわかりやすく説明し、理解を求めています。</p>
利用料金・実費負担	<p>ケアマネジメント費は全額給付(自己負担なし)</p> <p>※通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合、その交通費(実費)の負担をお願いすることがあります。</p>	<p>ケアマネジメント費は全額給付(自己負担なし)</p> <p>※通常のサービス提供地域を超える地域に訪問・出張する必要がある場合、その交通費(実費)の負担をお願いすることがあります。</p>
職員体制	<p>常勤職員4名(社福祉1名・保健師1名・看護師1名・主任CM1名)</p> <p>非常勤職員2名(介護支援専門員)</p>	<p>常勤介護支援専門員5名(うち主任CM1名)</p> <p>非常勤介護支援専門員3名</p>
契約者数	260名	206名

## 3 通所系サービス事業

通所介護 (介護予防・第1号・通所介護)	認知症対応型通所介護 (介護予防・通所介護)	地域密着型通所介護 (介護予防・通所介護)

目標	初回アセスメントの他、モニタリングを定期的に行い、その時々の状態に合わせた支援(自分で出来ることは行っていただく。過剰介護の軽減)が提供できるよう、サービス環境を整えます。本人が出来なくても、その人「らしさ」を尊重した支援を心掛け、出来る部分に目を向ける自立支援の意識を徹底したサービスを提供します。ヒヤリハット事例を分析し、サービス、業務内容を見直し、介護事故防止に努めます。		
実施体制	<b>【実施日数】</b> 週6日 <b>【提供時間】</b> 9:50~16:00 <b>【定員】</b> 35名	<b>【実施日数】</b> 週6日 <b>【提供時間】</b> 9:50~16:00 <b>【定員】</b> 9名	<b>【実施日数】</b>  <b>【提供時間】</b>  <b>【定員】</b>
利用料金・実費負担	介護保険1割負担分(若しくは2割負担、3割負担)+加算(入浴・体制強化・処遇改善)+食費(700円)等	介護保険1割負担分(若しくは2割負担、3割負担)+加算(入浴・体制強化・処遇改善)+食費(700円)等	
職員体制	生活相談員6名(兼務含)介護職員22名(兼務含) 看護職員5名(兼務含)言語聴覚士1名(兼務) 送迎運転手7名	生活相談員2名(兼務含)介護職員22名(兼務含) 看護職員5名(兼務含) 送迎運転手7名	
契約者数等	<b>【延べ利用者数】</b> 8,887名 <b>【契約者数】</b> 98名	<b>【延べ利用者数】</b> 1,286名 <b>【契約者数】</b> 11名	<b>【延べ利用者数】</b>  <b>【契約者数】</b>

令和3年度「横浜市日吉本町地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,683,456	91,889	15,775,345	15,477,753	297,592	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0	0	0	
雑入	0	0	0	62,596	△ 62,596	
印刷代			0	7,110	△ 7,110	
自動販売機手数料			0	55,436	△ 55,436	
その他			0	50	△ 50	
その他	3,990,000		3,990,000	0	3,990,000	
収入合計	19,673,456	91,889	19,765,345	15,540,349	4,224,996	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,886,945	0	10,886,945	9,196,656	1,690,289	
本俸	7,000,000		7,000,000	6,675,535	324,465	基本給
社会保険料	710,000		710,000	609,483	100,517	健康保険、雇用保険、厚生年金等
手当計	2,250,000		2,250,000	1,791,745	458,255	調整手当、期末手当、住宅手当等
健康診断費	30,000		30,000	30,855	△ 855	健康診断受診料
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	5,563	437	共済掛金
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	83,475	16,525	退職給付引当金
その他	790,945		790,945	0	790,945	その他
事務費	2,160,000	0	2,160,000	1,995,382	164,618	
旅費	10,000		10,000	1,787	8,213	会議、事業等交通費
消耗品費	130,000		130,000	304,755	△ 174,755	印刷用紙、文具類、洗剤類等
会議開費	10,000		10,000	1,127	8,873	会議費用
印刷製本費	20,000		20,000	22,239	△ 2,239	名刺印刷代、封筒作成代
通信費	370,000		370,000	404,397	△ 34,397	電話代、郵送代
使用料及び賃借料	0	0	0	10,560	△ 10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	10,560	△ 10,560	目的外使用料(自販機)
その他	0		0	0	0	なし
備品購入費	320,000		320,000	132,120	187,880	清掃備品類、足ふきマット、トナー等
図書購入費	5,000		5,000	0	5,000	書籍代
施設賠償責任保険	100,000		100,000	95,810	4,190	賠償責任保険
職員等研修費	15,000		15,000	15,868	△ 868	研修費及び交通費
振込手数料	2,000		2,000	372	1,628	手数料
リース料	900,000		900,000	666,196	233,804	車両、印刷機、複合機等
手数料	0		0	0	0	なし
地域協力費	50,000		50,000	0	50,000	地域協力活動費用
その他	228,000		228,000	340,151	△ 112,151	車両燃料費、訪問時駐車料金、諸会費等
事業費	272,000	0	272,000	38,144	233,856	
運営協議会経費	42,000		42,000	12,540	29,460	運営協議会費
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	230,000		230,000	25,604	204,396	自主事業経費
その他			0	0	0	
管理費	5,009,555	0	5,009,555	4,844,920	164,635	
光熱水費	2,700,000		2,700,000	2,820,763	△ 120,763	光熱水費
清掃費	1,150,000		1,150,000	1,133,873	16,127	日常清掃
機械警備費	140,000		140,000	134,313	5,687	機械警備費
設備保全費	568,000	0	568,000	565,675	2,325	
空調衛生設備保守	64,000		64,000	63,265	735	空調整備保守料
消防設備保守	49,000		49,000	48,664	336	消防設備保守料
電気設備保守	50,000		50,000	49,638	362	電気設備保守料
害虫駆除清掃保守	25,000		25,000	24,332	668	害虫駆除費
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	380,000		380,000	379,776	224	自動ドア、ガス給湯器、緑地管理、AED保守料
共益費	0		0	0	0	
その他	451,555		451,555	190,296	261,259	ゴミルート回収費等
修繕費	474,000		474,000	530,608	△ 56,608	修繕費
公租公課	870,956	0	870,956	919,665	△ 48,709	
事業所税			0		0	
消費税	870,956		870,956	919,665	△ 48,709	
印紙税			0		0	
その他			0		0	
その他			0		0	
支出合計	19,673,456	0	19,673,456	17,525,375	2,148,081	
差引	0	91,889	91,889	△ 1,985,026	2,076,915	

自主事業費 収入	15,000	0	15,000	0	15,000	
自主事業費 支出	230,000	0	230,000	25,604	204,396	
自主事業 収支	△ 215,000	0	△ 215,000	△ 25,604	△ 189,396	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	55,436	△ 55,436	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	44,876	△ 44,876	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度「横浜市日吉本町地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	29,283,516		29,283,516	23,748,975	5,534,541	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,795,000		5,795,000	5,795,000	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】			0	24,600	△ 24,600	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】			0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】			190,819	142,796	48,023	
雑入	0	0	0	55,435	△ 55,435	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	55,435	△ 55,435	
その他			0	0	0	
その他	190,819		190,819		190,819	
収入合計	35,423,335	0	35,423,335	29,920,806	5,502,529	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	31,546,000	0	31,546,000	18,640,844	12,905,156	
本俸	13,500,000		13,500,000	8,165,597	5,334,403	基本給
社会保険料	4,000,000		4,000,000	2,435,424	1,564,576	健康保険、雇用保険、厚生年金
手当計	13,500,000		13,500,000	7,705,068	5,794,932	調整手当、期末手当、住宅手当等
健康診断費	40,000		40,000	25,243	14,757	健康診断受診料
勤労者福祉共済掛金	60,000		60,000	16,687	43,313	共済掛金
退職給付引当金繰入額	430,000		430,000	292,825	137,175	退職給付引当金
その他	16,000		16,000	0	16,000	その他
事務費	1,200,001	0	1,200,001	1,345,839	△ 145,838	
旅費	35,000		35,000	4,940	30,060	会議、訪問等交通費
消耗品費	150,000		150,000	305,660	△ 155,660	印刷用紙、文具類、洗剤類等
会議随時費	3,000		3,000	0	3,000	会議費用
印刷製本費	40,000		40,000	31,342	8,658	名刺印刷代、封筒作成代
通信費	400,000		400,000	387,982	12,018	電話代、郵送代
使用料及び賃借料	0	0	0	10,560	△ 10,560	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0	10,560	△ 10,560	目的外使用料（自販機）
その他			0	0	0	なし
備品購入費	150,000		150,000	133,678	16,322	清掃備品類、足ふきマット、トナー等
図書購入費	3,000		3,000	0	3,000	書籍代
施設賠償責任保険	30,000		30,000	25,469	4,531	賠償責任保険
職員等研修費	40,000		40,000	9,802	30,198	研修費及び交通費
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	手数料
リース料	300,000		300,000	229,826	70,174	車両、印刷機、ソフトウェア等
手数料	0		0	11,000	△ 11,000	求人掲載手数料
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	地域協力活動費用
その他	43,001		43,001	195,580	△ 152,579	車両燃料費、訪問時駐車料金、諸会費等
事業費	1,249,001	0	1,249,001	877,796	371,205	
協力医	630,000		630,000	294,000	336,000	協力医謝金
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	150,001		150,001	87,781	62,220	自主事業経費
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000		154,000	148,884	5,116	介護予防事業費
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	315,000		315,000	347,131	△ 32,131	生活支援体制整備事業費
その他	0		0	0	0	
管理費	1,302,333	0	1,302,333	1,287,881	14,452	
光熱水費	700,000		700,000	749,822	△ 49,822	光熱水費
清掃費	315,000		315,000	301,407	13,593	日常清掃費
機械警備費	35,000		35,000	35,703	△ 703	機械警備費
設備保全費	155,500	0	155,500	150,364	5,136	設備保全費
空調衛生設備保守	17,000		17,000	16,815	185	空調整備保守料
消防設備保守	13,000		13,000	12,936	64	消防設備保守料
電気設備保守	14,000		14,000	13,194	806	電気設備保守料
害虫駆除清掃保守	6,500		6,500	6,468	32	害虫駆除費
駐車場設備保全費	0		0	0	0	なし
その他保全費	105,000		105,000	100,951	4,049	自動ドア、ガス給湯器、緑地管理、AED保守料
共益費			0	0	0	なし
その他	96,833		96,833	50,585	46,248	ルート回収費等
修繕費	126,000		126,000	46,892	79,108	修繕費
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	35,423,335	0	35,423,335	22,199,252	13,224,083	
差引	0	0	0	7,721,554	△ 7,721,554	

自主事業費 収入	150,000	0	150,000	167,396	△ 17,396
自主事業費 支出	619,001	0	619,001	583,796	35,205
自主事業 収支	△ 469,001	0	△ 469,001	△ 416,400	△ 52,601

管理許可 目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	55,435	△ 55,435	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可 目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	10,560	△ 10,560	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可 目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	44,875	△ 44,875	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和3年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:日吉本町地域ケアプラザ

令和3年4月1日～令和4年3月31日

(単位:千円)

	科目	介護予防支援(第1号も含む)			居宅介護支援			通所介護(第1号通所介護含む)			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	14,700	15,775	-1,075	42,000	44,418	-2,418	74,300	85,315	-11,015	21,700	19,263	2,437
	その他	0	0	0	550	191	359	7,170	8,141	-971	0	198	-198
	事業・負担金収入			0			0			0			0
	認定調査料			0	550	191	359			0			0
	利用料等			0			0	7,170	7,349	-179			0
	利用者等外給食費収入			0			0		792	-792		198	-198
				0			0			0			0
	その他			0			0			0			0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>14,700</b>	<b>15,775</b>	<b>-1,075</b>	<b>42,550</b>	<b>44,609</b>	<b>-2,059</b>	<b>81,470</b>	<b>93,456</b>	<b>-11,986</b>	<b>21,700</b>	<b>19,461</b>	<b>2,239</b>
支出	人件費			0	30,230	31,285	-1,055	56,480	51,109	5,371	13,726	12,776	950
	事務費			0	1,978	2,548	-570	10,399	11,133	-734	2,632	2,824	-192
	事業費			0	1,156	818	338	12,584	11,870	714	3,026	2,925	101
	管理費			0			0			0			0
	その他	7,800	8,796	-996	0	0	0	800	884	-84	200	221	-21
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	7,800	8,796	-996			0			0			0
	利用料等給食費支出			0			0	800	884	-84	200	221	-21
	その他			0			0			0			0
<b>支出合計(B)</b>	<b>7,800</b>	<b>8,796</b>	<b>-996</b>	<b>33,364</b>	<b>34,651</b>	<b>-1,287</b>	<b>80,263</b>	<b>74,996</b>	<b>5,267</b>	<b>19,584</b>	<b>18,746</b>	<b>838</b>	
<b>収支(A)-(B)</b>	<b>6,900</b>	<b>6,979</b>	<b>-79</b>	<b>9,186</b>	<b>9,958</b>	<b>-772</b>	<b>1,207</b>	<b>18,460</b>	<b>-17,253</b>	<b>2,116</b>	<b>715</b>	<b>1,401</b>	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和3年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども    青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	コグニサイズ	平成29年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	認知症予防のための脳活性化運動であるコグニサイズの実践を通して、有酸素運動を中心とした脳に負担をつかえる運動を加えることによって脳の活性化を目指し。継続的な認知症予防の場をつくること	1:高齢者		・準備体操(ストレッチなど) ・コグニサイズ ・茶話会 ※毎月第2金曜	8	163
2	転倒骨折予防もみじ会	平成19年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	・転倒予防の具体的な方法を実践を通して学び、転びにくい体づくりをすること ・他者との交流の機会にすること	1:高齢者		・座位を中心とした体操 ・タオルを使用してのストレッチ ・オーバーボールを使用してのレクリエーション ※毎月第1・3金曜	15	247
3	男のセカンドライフカレッジ	平成30年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	・これから定年を迎える(迎えた)方が健康を保ち、自宅に閉じこもることなく充実した生活を送ってもらうことにより支援が必要となる人にならないこと ・閉じこもらない生活を継続し、将来的には地域の担い手になってもらうこと	1:高齢者	概ね70歳までの男性	連続講座(秋ごろ開催) ※下田地域ケアプラザ・港北区社会福祉協議会	5	50
4	みんなの広場「本を読む部屋」	令和3年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	・子どもにとって安心できる居場所をつくること ・若い世代へのアプローチの手段として事業を位置づけ関係性を築いていく中で高齢者の実態を把握してもらい、地域の担い手となる育成を目指すこと	5:子ども・青少年	保護者	移動図書館「はまかせ号」の巡回に合わせて本を読む場所を提供する(隔週金曜日)。	19	107
5	放課後くらぶスマイル	平成22年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	・年齢障がい児に放課後の居場所をつくること ・ボランティア活動を通じて地域の人が触れ合うことで障がいへの理解を深めてもらうこと	2:障害児者		基本、毎月第3金曜日 ・レクリエーションなど	0	0
6	親と子の居場所ほんちよ	平成30年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親とこの集いの場「こんべいとう」、子育て拠点「どろっぷ」の休みの日曜日に、子育て世代の居場所を提供する 日曜日に開催することで親子(父親も含む)に来場してもらい地域活動、自主事業やサークル活動を知ってもらい、既存のサークルの活性化やサークル立上げにつなげて行く 30年度に行う「土曜両親教室」での受け皿として、周知を行い、産前、後の精神的負担の軽減を図る。	3:養育者及び乳幼児	子育て世代	基本、毎月2日曜日 ・プレイルームとして多目的ホール開放	10	83
7	にこにこ広場	平成25年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	育児支援に携わっている関係機関・団体同士が交流し、新たな事業展開を模索していくこと	3:養育者及び乳幼児	0.1,2、才児と家族	手遊び歌、絵本の読み聞かせ、身長・体重測定など	1	96
8	両親教室	平成30年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	妊娠期を安心して過ごせるようにし、助産師や地域の支援者たちと講座や体験で、出産後の準備をする。 ケアプラザを知らない世代に、ケアプラザを知ってもらい、乳幼児の支援活動を紹介する。	7:その他	妊娠期の家族	助産師による講座 先輩家族との座談会 沐浴などの体験 地域情報紹介	7	164
9	プラザ文化祭	平成21年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	貸し館登録団体の活動披露及び交流の機会とし、ボランティア活動の輪を広げてもらうこと	5:地域		歌や踊りなど貸し館登録団体の日頃の練習成果の披露	0	0
10	秋桜祭	平成19年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	『地域に根ざしたケアプラザ』をスローガンに、より多くの地域の方々へケアプラザに足を運んでもらえるきっかけにすること。また地域の方々へケアプラザスタッフとの交流の機会にすること。	5:地域		・模擬店 ・バザー ・イベント ※協力:関係機関・関連団体	0	0
11	書道教室	平成22年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	小学校の冬休みの宿題書初めの練習を機にボランティアの方々へ書道指導をしていただくことで、地域の子供たちとのかわりを広げていく。	4:子ども・青少年		【12/予定】 小学生を対象に冬休みの宿題(課題文字)の練習	1	18
12	パパの教室	平成20年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	乳幼児にできる手遊び歌を知ってもらい、パパ同士の情報交換をすることで、より良い子育てのきっかけにしようこと	7:その他	父親と乳幼児	パパの赤ちゃん会 パパと体操	1	28
13	育児講座	平成24年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	様々な方向からサポートしていくことで、育児の相談や情報交換ができるママ友づくりのきっかけになること	3:養育者及び乳幼児	母親と未就学児	リズムで遊ぼう	1	25
14	認知症サポーター養成講座	平成26年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	全ての地域住民等が認知症について正しく理解でき、認知症の人と家族が共に地域の中で、安心して生活することができること	5:地域	企業、事業所など	テキストによる講座と、寸劇やDVD鑑賞などを組み合わせて実施 包括主体、あるいはキャラバンメイト主体での開催 随時、事業所や地域にて開催	0	0
15	介護者のつどい	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者支援及び介護疲れなどによる高齢者虐待防止のために、現在介護されている方、介護経験者を対象にして、自由に意見交換ができる場を作ること	5:地域		参加者と主催者および共催者の意見交換、情報共有 6月、9月、12月、3月(第2水曜日)	7	2

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）	<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども    青少年    5：地域    6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
16	高齢者虐待防止ハンドブック研修	平成30年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者虐待の防止のための普及啓発住民や事業者の職員が相談しやすい環境を作るため、住民、事業者、関係機関管内の関係づくりをしていくこと	6:事業者	地域住民	ハンドブック、リスク評価票の活用方法の講義 民生委員向け各民児協にて、地域住民向け8月	0	0
17	エンディングノート講座	平成31年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	人生最後まで自分らしく、自分の意思を尊重され、また自立した生活を営んでもらえること	5:地域		エンディングノートの活用の仕方説明 成年後見や介護予防などの講座と組み合わせる	0	0
18	日吉地区事例検討会	平成20年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域のケアマネジャーのスキルアップ	6:事業者		奇数月最終木曜日 ケアプラザ協力医の協力のもと事例検討会、事例研究会を様々な手法を取り入れて開催。	5	88
19	ひよしもケアマネ倶楽部	令和元年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域のケアマネジャーのスキルアップ	6:事業者		日吉エリアの居宅事業所を中心に「ひよしもケアマネ倶楽部」が立ち上がり、包括も共催することで、ネットワークの構築、各ケアマネのスキルアップのための研修会を開催する 年4回開催予定（1回はコロナのため中止）	2	32
20	主任ケアマネジャーと地域住民との交流(仮)	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	社会資源としての主任ケアマネジャーと地域住民が交流を図り、地域ニーズを把握して専門職と地域の顔の見える関係を作る。	5:地域		介護保険についての勉強会 6月、10月、2月(予定)	3	43
21	スリーA 日吉	平成28年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	スリーA ボランティア養成講座終了後の活動の位置づけとして、ボランティア育成及び支援を行い、認知症の方でも参加しやすい活動を目指し、地域のつながり作り場の場を作る。	5:地域		毎月第1木曜日 ・認知症予防レクリエーション「スリーA」プログラム ・茶話会	8	129
22	ほっとスペースひよし	平成21年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	いきいきライフセミナーのOB会支援の位置づけでもある気軽なサロンで、高齢者の外出支援となり他者との交流をはかる場を提供する	1:高齢者		毎月第4水曜日 月毎の催しを実施予定 茶話会を含む	9	141
23	男の健足講座	平成30年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	転ばない足づくりに向けて、自分でできるフットケアを学ぶ	1:高齢者	男性	令和3年1月～3月(計3回) ・フットプリントと簡単な足の触診 ・フットケア講座(爪の切り方、セルフマッサージなど) 講師:鈴木先生・川上先生	3	37
24	よこはましニアボランティアポイント研修会	平成31年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	元気な高齢者が特別養護老人ホーム等でボランティア活動を行うことにより、本人の健康増進や介護予防につなげることや、社会参加、地域貢献を通じた生きがいづくりを促進すること	1:高齢者		9/24(金) ・事業概要(制度の仕組み) ・ボランティア活動について(活動の心構え、注意点など)	1	24